

# かもめだより No.20

沼津市議会 会派「市民クラブ」会報

2015年10月30日  
9月定例議会号  
発行 市民クラブ  
発行責任者 鈴木秀郷



## 消防に新たな拠点

原団地内に消防の新たな拠点施設が建設されます。消防北署及び原分遣署が統合され、この施設で運用されます。地域の安心安全の拠点としての役割が期待されます。

## まち・ひと・しごと創生で議論

国の予測では、東京への一極集中、出生率の低下などで地方の人口はどんどん減り続け、沼津においても西暦2060年には、ほぼ半分の人口になってしまうとの推計になっています。

その事態を回避するため、国では、地方の産業の育成、子育て支援などで人口の減少を食い止めようとして取り組んでいます。沼津市でも2060年での減少幅を小さくするための計画(まち・ひと・しごと創生総合戦略)を策定しました。

働きたい・住み続けたいまちの魅力を生みだす、若い世代の雇用の場を確保、子育て支援、訪れたい沼津作りなどを目標に様々な諸施策を展開して行く事になります。

## 9月議会で意見書採択

市民クラブが提出した「少人数学級と教職員定数改善の推進及び義務教育費国庫負担2分の1への復元を求める意見書」が全会一致で採択されました。

## のぎくホームの建設始まる

母子福祉の施設が新しく建設されます。

夫のDVから逃れてくる母子世帯などの駆け込み寺の役割も期待されます。

## 津波避難築山工事再開

津波対策用築山の整備工事が再開されました。

子供たちの命を守るための避難設備が、一刻も早く完成し、子供たちの安心の笑顔がみれる事を望みます。

## 勤労青少年ホームの歴史に幕

昭和43年から50年近くにわたり若者たちの交流出会いの場として親しまれていた勤労青少年ホームは、香陵公園の整備計画にあわせなくなります。

教育委員会の誤った運営により、若者の足は遠のき、本来の機能を失って、ついには廃止となりました。



# 所属議員の活動

9月議会では市民クラブから5人が  
一般質問に立ちました。

## 貧困の連鎖を、断ち切って行きましょう！

「ひとり親家庭などにおいての経済的困窮が、子供たちの安定した修学に影響がある。

貧困の連鎖を食い止めるため、支援対策の充実を図っていく事が大切である。」



霞恵介議員

## 住民の願いを理解し、古墳と道路両立を！

「これまでも、安全な通学路や、地域のために協力してきていただいた多くの人がいる。

高尾山古墳保存と道路の早期完成の両立に、より良い結論を出して欲しい。」



深田昇議員

## 元気な中小企業が、地域を活性化する！

「中小企業にとって、人は要である。人材確保や継続就労対策などの支援を強化すべきである。

中小企業の振興条例の制定も検討していくべきである。」



梶泰久議員

## 「ドローン」を正しく理解し、活性化にいかそう！

「真剣に関わり、認識を新たにすることで、いち早く産業や観光に活かせれば、大きな飛躍ができる。

東海大学跡地には研究・開発・実験・講習施設を検討すべし。」



原信也議員

## 国土強靱化地域計画で、安全な地域作りを！

「国の国土強靱化計画に基づき、県も他市町も動きだしている。

災害に強い安全・安心なまちづくりを進めていく上で、国が強力な支援をする地域計画の策定が重要である。」



渡部一二実議員

## 戸田地区で議会報告会 10/2

戸田地区で議会報告会と住民意見公聴会が開催されました。

市民クラブからは、鈴木代表が参加し、戸田地区が抱える様々な問題について話し合いました。



鈴木秀郷議員

### 市民クラブこれからの主な予定

10月～ 28年度予算検討  
11月27日～ 12月定例会

ホームページを覗いてみてください。



沼津市民クラブ